

S I P 第 3 期「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」
社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 8 年 5 月 2 8 日

包摂的コミュニティプラットフォームの構築
プログラムディレクター 久野 譜也

今般、包摂的コミュニティプラットフォームの構築においては、中間評価を踏まえた新たなビジョンに基づく事業の実施のため、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更内容は以下のとおり。

1. ステージゲートの結果を踏まえて、各サブ課題において開発に取り組んでいる社会技術について、それぞれの成果の社会実装像の具体化のために、原則として令和 8 年度上期に有償 PoC（概念実証試験）を開始するよう、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画を変更する。
2. 育児と親の介護を同時に行う人々（サンドウィッチジェネレーション）が直面する課題の解決のため、サブ課題 B・C（子育て女性・働く女性支援の社会技術開発）と D-1（高齢者のフレイル予防・社会参加支援の社会技術開発）のサブ課題間連携を推進する。
3. ステージゲートの結果を踏まえて、サブ課題 D-3（高齢者が生涯にわたって自立的に経済活動ができる包摂的な社会経済システム構築）を SIP による実施から、BRDIGE による実施に移行させる。
4. ステージゲートの結果を踏まえて、サブ課題 A-2（多様性寛容の共創システム開発）の SIP による実施を令和 7 年度末をもって中止する。
5. その他、各サブ課題について、過年度の進捗を記載するとともに、ステージゲート及び中間評価における委員コメントを踏まえて、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の一部変更を行う。

以上